

新編立川市史資料編 柴崎の民俗 目次

口絵

刊行にあたって

凡例……………Ⅱ

目次……………Ⅳ

第一章 柴崎地区の成り立ちと生活空間

第一節 本編の目的と構成……………2

一 目的……………2

二 構成……………2

第二節 地理……………3

一 位置……………3

二 地勢……………3

第三節 歴史……………5

一 行政区域の変遷……………5

二 地区内の区分……………6

三 概略的な沿革……………9

1 近世から第二次世界大戦まで

2 第二次世界大戦後の柴崎地区

3 高度経済成長と以後の柴崎地区

第四節 生活空間……………17

一 村の生活空間……………17

二 水の環境……………19

三 ハケ・ハケウエ・ハケシタ……………20

四 住まいの環境……………22

五 生活空間の現在……………23

第二章 社会

第一節 本章の目的と構成……………26

第二節 自治会と自治会記念誌……………26

一 地方自治制度と自治会……………26

二 自治会の生い立ち……………27

三 自治会記念誌……………33

四 自治会アンケートの考察①―成員と組織……………36

五 自治会アンケートの考察②―共有・協力……………38

第三節 明治～戦前・戦中期の町内……………41

一 柴一八幡会と公会堂文書……………41

二 自治組織としての「町内」……………43

1 「町内」の帳簿管理 2 村政運営の記録

3 念仏と日待 4 共有膳椀の記録

5 代参講中の記録

三 戦時下の「町内」と行政……………47

第四節 自治村落と戦後の自治会……………49

一 滝ノ上の村落組織……………50

二 自治会の組織……………51

三 滝ノ上にもみる村落と自治会……………54

第五節 戦後の自治会の展開……………55

一 錦二の中町会の事例……………55

二 高松町一丁目協力会の事例……………57

三 富士見町住宅自治会の事例……………59

第六節 若い衆・青年会……………62

一 若い衆……………63

二 青年組織の官製化……………63

三 恒友青年会……………64

四 柴崎地区の諸青年会……………66

五 戦前期の青年団……………68

六 戦後の青年会（青年団）……………69

七 立川青年学級……………72

第三章 産業・生業

第一節 本章の目的と構成……………76

第二節 農業……………76

一 農業……………76

1 はじめに 2 土地利用と耕地 3 稲作

4 畑作 5 稲作・畑作の変化・減少 6 養蚕

7 梨の生産

第三節 製造業の盛衰……………96

一 和菓子の製造販売——井筒屋……………96

1 戦前の和菓子作りの大変さ 2 餅を四〇俵搗く

3 終戦直後から昭和三十年代のマチの賑わい

4 戦後の菓子屋の好景気

二 一〇〇年続く畳屋——安藤畳店……………101

三 始めたときは他人の玄関——カネコ靴店……………102

四 鯉節の製造販売——三上鯉節店……………103

五 コンニャクの製造卸——原島食品工業……………104

第四節 小売業……………105

一 兄の時計店を譲り受ける——友生堂時計店……………105

二 蝶の名前から付けたタバコ屋——ゼフィルス……………106

第五節 飲食業……………107

一 「たくあんといカ」で始まった「タコ焼き」――

たこやきや高橋……………107

二 奈美喜庵……………107

三 高尾亭 本店……………109

第六節 その他の「サービス業」……………110

一 米軍基地と「軍需産業」……………110

第四章 衣・食・住

第一節 衣生活……………114

一 衣料・衣服の作製……………114

(一) 養蚕と糸取り (二) 機織り

(三) 着物の仕立と染め

二 日常の衣服……………120

(一) 仕事着とふだん着 (二) 子どもの衣服

(三) 戦中戦後の衣服 (四) 被り物・履物

(五) 髪型・身だしなみ

三 ハレの衣服……………135

(一) 写真に見る戦時下の晴れ着・よそ行き

(二) 人生儀礼と衣服

四 衣服の管理・購入……………138

(一) 洗濯と衣類の管理 (二) 衣服の新調と購入

五 寝具……………140

第二節 食生活……………141

一 日常の食……………141

(一) 食糧の自給と調整 (二) 一日の食事

(三) 食料

二 季節の食と贈答……………156

(一) 年中行事 (二) 付き合いと贈答

(三) 冠婚葬祭

三 食材・食品の購入……………165

(一) 店 (二) 引き売り・行商・屋台

四 戦中・戦後の食生活……………168

第三節 住生活……………170

一 滝の上・井上昭春家の住まい……………170

(一) 主屋 (二) 屋敷地・付属建物 (三) 水利用

(四) 下肥と肥料 (五) 環境と自然

二 山中・五十嵐猪一家……………180

(一) 主屋 (二) 屋敷地 (三) 環境

(四) 行商と渡りの職人

三 柴崎地区の住まいと暮らしのうつりかわり……………191

(一) 水利用 (二) 火と燃料

(三) 暮らしの道具と環境

第五章 人生儀礼

第一節 本章の目的と構成……………198

第二節 婚姻儀礼……………198

一 昭和三十年頃までの婚礼……………198

恋愛、結婚話、見合い、クチガタメ、仲人、通婚圏、
適齢期、結納、アシイレ、嫁入り道具、婚礼、嫁迎え、
嫁の衣装と姿、嫁の行列、嫁の人家、結納返しと土産、
婚礼の手伝い、アイサカヅキ、嫁婿の座る場所と雄蝶
雌蝶の動き、前座敷、婚礼時の暖房、婚礼の宴会、子
どものお呼ばれ、引き出物、西多摩地区の親戚からの
御祝い、婚礼最中の忌み言葉と縁起担ぎ、後片付け、
嫁の顔見せ、里帰り、夫婦の外出、独身者

二 婚礼の変容……………206

太平洋戦争前後の恋愛、終戦直後の結婚式、家と家の
結婚から個人同士の結婚へ、祝いの品、結婚式場での
結婚式、結婚式場の施設、結婚式場で出す料理、引き
出物の変容、新婚旅行、自営業家庭から農家に嫁に来
た人の苦勞、仙台から嫁に来た人の驚き

第三節 出産と成長の儀礼……………213

一 昭和三十年頃までの出産習俗……………213

妊娠、妊娠中の禁忌、妊娠中の労働、妊娠五ヶ月目の
腹帯、安産祈願、出産準備、産婆、出産の場、分娩、
産湯、臍の緒、エナ、産婦の食事と生活、授乳、産見
舞い、拾い子・捨て子、お七夜、雪隠参り、命名、腰
湯、産の忌みとまじない、オビアケ、お喰い初め、初
節供、初正月、子どもの成長のためのまじない、汗疹
よけの桃の葉湯、オビトキ

二 出産習俗の変容……………218

腹帯、昭和三十年以降の出産、オムツの変化

第四節 子ども時代のくらし……………219

子どもの仕事、道草、子どもの遊び、水遊び、男の子
の遊び、鳥や虫で遊ぶ、子どものいたずら、女の子の
遊び、植物で遊ぶ、年中行事の中の遊び、正月の子ど
もの遊び、子どもが中心となる行事、第一小学校の修
学旅行、初潮、奉公、女学校、高等女学校の友人、一
人前、米軍と子ども

第五節 葬送儀礼……………224

一 昭和三十年頃までの葬送儀礼……………224

葬式、死の連絡とクミアイの手伝い、ヒキヤク、クミ

アイの女性の仕事、山中のコウジュウ、無縁講、葬式の見舞い、魔除けの刃物、死者への供物、湯灌、死に装束、棺、納棺、通夜、葬式をしない日、葬儀の料理、膳碗、土葬時の穴掘り、葬式の鉦、出棺、門出の念仏、葬列の先頭、葬列・野辺送り、寺での葬儀、埋葬、葬列の道、葬式のキヨメ、埋葬後のダンバライ、葬式後の念仏、葬式料、死者の挨拶、北向きに掛ける死者の着物、ブク、初七日までの墓参り、形見分け、四十九日までの墓参り、四十九日、祝儀用・不祝儀用帳面の違い、盆の間の葬式、産死者、火の玉、無縁仏、ニイボンの提灯、年忌、最終年忌

二 葬送儀礼の変容……………233

火葬への変化と地域の付き合いの変遷、葬祭場の普及による変化、葬列に歩く者の服装、遺骨

第六章 年中行事

第一節 本章の目的と構成……………238

第二節 年中行事の背景……………239

暦と行事の配列 家の神と行事の場 普段の暮らしとモノビのカワリモノ

第三節 暮れと正月……………241

一 正月の準備……………241

スストリ、スストリモチとニギリダンゴ、寺へのツケトドケと墓参り、歳暮、羽子板と弓破魔、餅搗き、ジザイモチとカラミモチ、さまざまな餅、オソナエ、年神様、オカマジメと幣束、シメナワ・シメカザリ・ミキノクチ、門松

二 大晦日と正月……………250

晦日市、大晦日の夜、大晦日と元旦の火、正月の仏壇とブク、大正月・小正月、年男、雑煮、雑煮の供えかた、正月の食物、初参り、年始、拝島大師、仕事始め、寺年始、寒の入りと六日年越し、七草、蔵開き・鏡開き

三 小正月……………261

若餅、粟穂稗穂、繭玉、小豆粥・女の正月、サイノカミ、初日待、万歳と獅子舞、ヤブイリと閻魔様とダルマ市、山の神、エビス講、高幡不動

第四節 春・夏……………266

次郎の朔日、天道念仏、節分、ヨウカゾウ、涅槃会、初午、井戸縄ないと井戸さらい、二月の大風、出替わり、三月節供、春彼岸、代参講、道普請、堀さらい、

花祭り、春祭・春祈禱、養蚕の始まり、蛇籠ぶち、五月節供、五月の仕事、暗闇祭、六月の仕事、代かき、種ふり、苗取りと田植え、農馬、田植えの食事、半夏生、七夕、ノアガリと田植えの祝い、桃の市、キュウリの初なり、山中の天王様、田の草取り、田用水の管理と水争い、土用の丑の日、トッポシ

第五節 盆

盆の日取り、盆供、中元・盆暮れ勘定、盆棚、迎え盆、無縁様、盆の供物、盆花、棚経、新盆、送り盆、盆の里帰り、大施餓鬼会、閻魔様

第六節 秋・冬

八朔、花掛け水と堰払い、イモホガケ、風祭り、二十日、諏訪神社の秋祭り、お月見・十五夜、秋彼岸、生姜祭り、養蚕の終わり、お月見・十三夜、エビス講、オカマサマとオカマダンゴ、谷保天神のオカガラビ、和泉の地蔵、酉の市、ダイシガユ、イノコ、七五三・オビトキ、稲刈りとアキジノウ、麦まきの祝い、アナツプサギダンゴ、カワビタリ、ヨウカゾウ、御嶽御師の札配り、平方のお獅子様、クズハキ、味噌炊き、火の番、冬至

第七章 信仰

第一節 本章の目的と構成

第二節 寺社

一 普濟寺

(一) 沿革 (二) 年中行事

二 諏訪神社

沿革、境内社、神職、氏子数の変遷、氏子と町会、氏子の組織と会議、祭事、神事、戦前の氏子組織

三 熊野神社

沿革、神職、氏子と氏子組織、祭事、オカマジメ、境外末社、土俵(相撲場)、石碑、地域の行事 高松町パレード

第三節 「立川諏訪祭り例大祭」

一 現在の「立川諏訪祭り例大祭」

(一) はじめに (二) 「立川諏訪祭り例大祭」の概要

(三) 「立川諏訪祭り例大祭」の行事

(四) 「立川諏訪祭り例大祭」の運営

二 歴史的変遷

(一) はじめに (二) 「諏訪神社例大祭」

(三) 「立川諏訪まつり」 (四) 町内会

(五) 神輿会	(六) 「立川市民まつり」	
(七) 地域の中の「立川諏訪祭り例大祭」		
(八) おわりに		
第四節 諏訪祭り例大祭と地域社会		330
一 はじめに		330
二 神酒所開き		330
(一) 町会の神酒所開き		
三 諏訪祭り例大祭(土曜日)		336
(一) 町会		
四 諏訪祭り例大祭(日曜日)		344
(一) 神輿会と町会による神輿の巡行	(二) 町会	
五 おわりに		354
第五節 さまざまな神仏		355
一 社と堂		355
(一) 浅間神社と富士塚	(二) 第六天神社	
(三) 沢稲荷	(四) 原市場稲荷	
(五) 豊川稲荷と大島神社	(六) 矢川辨財天	
(七) 地蔵(下和田地蔵、芝中地蔵、滝の上の地蔵)		
(八) その他(弁天、妙見跡、妙覚寺跡、航空神社と太陽神社跡、尺串神社跡、オシヤモジサマ)		
二 神々と祭り行事		391

(一) 山中天王祭と神輿	(二) 山中天王祭の変遷	
(三) サイノカミと火祭り	(四) 稲荷と山の神	
第六節 講		412
一 念仏講		412
(一) 天道念仏	(二) 念仏講	(三) 御詠歌講
二 日待と代参講		416
(一) 日待と地域生活	(二) 日待と三つの代参講	
三 巡行する神仏		424
和泉の地蔵、平方の獅子		
第七節 共同祈願		430
雨乞い		
第八節 家の神		431
一 屋内の神		431
二 屋外の神		433
第八章 民俗芸能		
第一節 本章の目的と構成		436
第二節 近世柴崎村で行われた芸能		436
一 湯の花神楽・湯立て		436
二 太々神楽		438

三 祈禱の芸能	438
第三節 諏訪神社の獅子舞	439
一 祭礼日の変遷	439
二 現在の諏訪神社・八幡神社例大祭における獅子舞奉納	440
(一) 準備・初顔合わせの儀 (二) 練習	
(三) 中祝いの儀 (四) 羽根差し・棒卷きの儀	
(五) 宵宮の儀 (六) 祭礼当日	
(七) 羽根拔きの儀・鉢洗いの儀	
三 伝承組織の変遷	445
四 諸役	448
(一) 棒仕い・舞子 (二) 下方	
五 演目	450
六 古獅子頭と獅子舞に関する諸記録	454
(一) 古獅子頭 (二) 太鼓胴の記録	
(三) 「明神本社普請記録」 (四) 「公私日記」	
(五) 「明治三十九年第九大吉日通帳」 (六) 「棒組台帳」	
(七) 立川市獅子舞芸能保存会記録 (三冊)	
第四節 祭囃子	465
一 一番場囃子・柴一はやし連	465
(一) 歴史 (二) 諏訪神社例大祭での巡行	

二 立川おはやし保存会	468
錦東会おはやし連(重松流)、五月おはよし連(神田流)、高松町お囃子保存会(重松流)、柴二東部会 あづまはやし連(神田流)、錦みよし会おはよし連(目黒流)、柴西囃子連(神田流)、曙子どもおはよし連(船橋流)、曙東おはよし連(神田流)、諏訪おはよし連(神田流)、立川一絆囃子連(重松流)、立川羽三囃子連(目黒流)、立川錦囃子連(船橋流)、中里神明囃子連(重松流)、殿ヶ谷十二支おはよし連(重松流)	
第五節 立川小唄	473
卷末資料	479
1 資料解題・例言	479
2 柴一八幡会公会堂所蔵文書目録	480
3 「棒組台帳」	486
引用・参考文献一覧	ii
協力者・協力機関	x
執筆担当者・市史編さん関係者	xiv